

第5回銚子市子ども・子育て会議 概要

開催日時	令和2年2月21日（金） 午後1時30分から午後3時20分まで
開催場所	勤労コミュニティーセンター 2階ホール
出席者	14名 椎名泰孝会長、佐野久子副会長、長島雅子委員、村田貴子委員、 岩田佳之委員、小林望委員、中山麗子委員、平幡照正委員、 石橋誠行委員、林元子委員、岡田美紀委員、田中英子委員、 林玲枝委員、加瀬進一委員
欠席者	1名 宮川将志委員
事務局	14名 越川市長 島田副市長 子育て支援課 山口課長、神崎補佐、高木主査、酒井副主査 学校教育課 北村課長、井上室長、松浦室長 健康づくり課 岡根副主幹 鶴月コンシェルジュ、三浦コンシェルジュ 社会福祉課 石田課長、土屋室長
議題	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 (1) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について ・パブリックコメントの実施結果について (2) 公立保育所再編について ・パブリックコメントの実施結果について (3) その他 ・令和2年度 幼稚園・保育所（園）の申込状況について ・令和2年度 放課後児童クラブの申込状況について 4. その他 5. 閉会

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について

・パブリックコメントの実施結果について

(資料1)「銚子市 第2期子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメント実施結果」

(追加資料)「銚子市 第2期子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメント実施結果」 提出いただいたご意見の概要と市の考え方

事務局より説明

(質疑応答)

委員 番号1の意見で、7月の子ども手当申請は全員市役所へ提出するので、その時にアンケートをとって要望を聞いてもらえないかというものがあつた。これに対する市の考え方では、平成30年11月～12月にアンケート調査を行いましたとなっているが、改めてアンケートはできませんということなのか。

事務局 今回の計画を策定するにあたり、小学校区ごとの人数にあわせて対象者を抽出するかたちでアンケート調査を実施。児童手当申請については、公務員等の方は来ないので、今のところは考えていない。

委員 全員は来ないのかもしれないが、せつかく市役所へ出向く機会なので、参考になるのではないかと思う。

事務局 子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたってのアンケート調査は事前に行っている。アンケートという形式にかかわらず、子育て世代の方からの要望を聞いてほしいというように捉えたので、児童手当申請の際にできるかどうかは別にして、市民の皆様の声を聞く機会については検討していきたいと思う。

議長 他に質問がないようであれば、(2)公立保育所再編について、事務局より説明をお願いします。

(2) 公立保育所再編について

・パブリックコメントの実施結果について

(資料2)「銚子市公立保育所再編方針(案)についてのパブリックコメントで

いただいたご意見全文」

(追加資料)「銚子市公立保育所再編方針(案)に対するパブリックコメント実施結果」

事務局より説明

(質疑応答)

議長 大きく分けると、再編計画の見直しの意見、海鹿島保育所の閉所反対についての意見、再編実施を計画に従って進めてはどうかという意見の3点になると思います。委員からも、保護者、子ども、地域の方々に大きく影響があるので、十分な説明をしていただくよう配慮をお願いしたいというご意見があり、事務局もそれについては配慮していくということでありました。今までのところと重複してもかまいませんので、ご意見やご質問等がありましたらお願いします。

委員 パブリックコメントの意見をまとめて検討したというだけでは市民は納得できないと思う。ゼロから見直すことは無理だと思うが、少しでも良いのでアクションを起こしてもらいたいと感じた。

委員 閉所の対象になっている海鹿島保育所についての意見が多くあるが、同じく再編対象である第三保育所についての意見はかたちとして表れていないだけで、一定数の同様の意見はあると思うので、パブリックコメントでの意見を含め、きちんと受け止める必要があると思う。保育を必要としている子どもへの影響を考えると、公立・私立を分けて考えるのではなく、市全体として、定員数や立地条件等を考えていくべきなのではないかと個人的には思う。第2期子ども・子育て支援事業計画にある、多岐に渡る膨大な事業計画が、確実に実施されるように目指すことが課題を解決するうえで大切。

委員 1月21日に行われた市民説明会に出席した。その中でもご意見、ご要望等に対する、市職員の対応や回答はとても良かったと思う。方針案を決めた中で、行政として、サービスの質を向上させて、適正規模の運営を目指すというところを引き続き強く訴えていただければ、ご理解いただけるのではないかと考えている。

委員 1年間会議に参加して、市が子育てに関する様々な策を講じていることがわかった。保育所の再編については避けて通れないことだと思うので賛成である。

以前の会議の中で、保育士の確保が難しいという話が出てい

た。保育所への入所という場面では、初めての集団生活ということもあり、障がいのあるなしにかかわらず、不安を抱える部分が多くあると思うので、そこが少しでも解消して楽しい保育所生活が送れるようにしていただければと思う。

委員

幼稚園を利用していたため、会議に出席して初めて保育所の状況を知ったが、保育所再編はやらざるを得ない気はしている。自分の通っている施設がなくなることに納得ができない部分はあると思うので、今通っているところに通えなくなるという不安をどう解消していくか、その方々にどう寄り添っていくかが大事だと思う。

委員

私も、会議に出席するまでは公立保育所についてあまり知らなかったのですが、市の財政や老朽化によるものと言われれば、再編することは良いことだと考えていた。しかし、閉所の対象になっているところに子どもを通わせている保護者からの意見を聞き、今通っている子どもが卒園するまではなんとかしてあげられないものかと思った。再編をすることで、適正規模での集団生活を期待できると書いてあるが、現実味がないのだと思う。人数が減った時に初めて、こんなに少ないんだと気づき、閉所も仕方ないと思うのでは。保護者に寄り添うといっても市の財政等を考えると難しく、犠牲になってしまう子どもも出てきてしまうと思う。

委員

1月21日の説明会に参加した方に、子育て支援課の職員の対応が良く、市民一人ひとりに寄り添った回答をしていて、回答に対して苛立っているような方もいなかったと聞いた。

以前、保育所の職員が辞めた時、子どもは順応性があるため新しい先生が来ることを喜んでいたが、子どもよりも保護者の不安が大きかったように思う。今回も、再編により不安を抱えてしまうのは、子どもよりも保護者のほうが多いのではないかと思う。

海鹿島保育所の近くには外川保育園や飯沼幼稚園があるので、そこもフォローしてくれると思う。市の支配下に置かれるため、私立で新設することはできず、また、多数決で閉所を取りやめることになりましたということにもならないと思う。最終的には判断をする市長が、信念をもって方針を固めたほうが良いと思う。海鹿島保育所の職員を含め、どこの保育所の職員も思いは変わらず頑張っていると思うので、その気持ちに対してのフォローが必要なのでは。

委員 計画の中にも「量に対する質」ということが出てくるが、質に対しての捉え方はどのように考えているのか。質というのは、保育士や教員の質だけではなく、施設や遊具等の設備投資、維持を含めたところも質の向上と捉えていくことが良いと思っている。便乗値上げと思われがちだが、今回の幼児教育・保育の無償化には設備投資等の補助が入ってないため、教員の確保、設備投資、設備の修繕等を踏まえたうえで値上げをしているところもある。再編にあたり、全体の施設の量に対する質について検討していただき、よりよい施設にしてもらいたい。

委員 銚子市の現状や今後のことを考えると、今が再編をしなければいけない時期だということは承知しているが、海鹿島保育所の保護者の思いを感じ、日頃の保育士の努力が認められていると羨ましく思った。住民や保護者に対する説明会が十分にされたと聞き安心したが、それぞれの立場や考え方は様々で、とても難しい課題だと感じている。一人ひとりに寄り添った対応を今後も心がけてほしい。

議長 現在、園児の確保について気を使っていることがありましたら教えてください。

委員 子どもが減少した理由としては、漁村や農村が多い地域になるため、若い方が後を継がずに他の地域へ移ってしまうという地域性があると思う。若い方が留まっていないという現状の中で、空き家も増えている。そのため、現在はあらゆる地域の子どもを受け入れており、途中入所も受け入れている。クラス全体が落ち着いてきた時期に途中入所の子どもを受け入れると、その子どもが泣き出してクラスが落ち着かない雰囲気になることもあるが、待機児童を出さないように、一時預かりも含めて対応できるようにしている。

委員 保育所等訪問支援で民間の保育園を訪問し、私立は公立にないところがたくさんあって、色々と問題を抱える中で子どものことを考えるというのは大変なことだと思った。保護者と子どもの気持ちを考えたうえで説明をしていけば、皆さんが納得できる内容になっていくのではないかと思う。

委員 子どもが小学校に通っている時に合併したが、その時は子どもたちよりもPTAのほうが大変で、最終的には子どものことを考えたかどうかということを基準に模索したことを思い出した。市

の意見を見て、「再編による影響を及ぼさないように質の向上を」とあるが、これでは漠然としているので、もっと具体的な案を示すことで納得してくれる方もでてくるのではないかと思う。

委員

銚子市の出生数は減少しており、少子高齢化が課題になってくることを残念に思う。再編による閉園に伴い転園される方については、不安なく新しい環境に移れるように支援していただきたい。

委員

出生数の減少であったり、施設の管理、市の現状等を考えると、再編は致し方ないと思う。

公立幼稚園では正規の職員がなかなか採用されず、1つの園に1人、2人の配置という状況になっていたため、現場としては、正規の先生がそろえばもっと良い教育ができるという声が聞かれた。公立保育所の再編により正規の保育士をきちんと確保できれば、さらに現場が充実すると思う。

委員

第三保育所の近くには、漁業関係者などが多く住んでいる。また、子育て世代である30代、40代の方が、生まれ育った銚子市に戻って来るという可能性もあると思うが、保育所が近くにないことが子育てをしにくい環境となり、住みたいと思えなくなる要因の一つになってしまうと思う。パブリックコメントの意見にもあったが、孫を祖父母が送迎するような場合は距離的な問題もあるため、そのような環境の整備も重要。再編を白紙にしてほしいというわけではないが、数を減らすことだけが最終手段であるのか、閉所時期についてだけでも良いので検討してほしい。

委員

公設公営と公設民営では、公設民営のほうが人員確保などの経費を踏まえると費用がかからないという統計がでている。また、施設の修繕等の際は市議会を通すという規定もあり、そのようなことも踏まえて今後の運営を考えると良いと思う。

議長

市としても、総合戦略検証委員会等の様々な場で再編について検討していると思いますが、この会議においても十分な意見を吸い上げることができたのか疑問が残る部分もあります。ここはあくまでも子ども・子育て支援事業計画を策定する機関だと思うので、時間的余裕があるのであれば、関係者、関係機関、保護者、地域の方などによる再編の検討委員会などを立ち上げて、関係者の意見を聞いてから対応したほうがより丁寧だと思います。要望として、このような意見があったということをお含みおきいただきたいと思います。

他にご意見がないようであれば、市長より保育所再編についての考えをお聞かせいただければと思います。

市長

長時間にわたり様々なご意見をいただきありがとうございます。保護者や地域の思い、喪失感をしっかりと受け止めて対応していくことが必要だと改めて感じております。

パブリックコメントでは、人口流出に対する懸念、海鹿島保育所の存続を求める意見が多数ありました。人口減少による入所児童数の減少により、地域資源である保育所の持続性や安定的な運営を目指すためには公立保育所の再編集約が必要と感じたため、市としては、適正規模の運営を維持して質的向上を図るということで方針案を策定しました。再編ではなく、定員数の削減というご意見もありましたが、保育所の再編、集約化によって公設保育所の数を減少させる代わりに、子どもたちの適正規模を維持し、人的資源や財源を集中させることで保育所の質的・人的向上を図り、デメリットを補いながら市全体の保育環境の向上を図っていくという考えであります。閉所となる保育所の保護者や保育士、地域の喪失感は大変なものであると感じておりますので、説明責任を果たすとともに、しっかり寄り添って丁寧に対応すること、また、海鹿島保育所の指定管理者との十分な協議も必要だと考えております。地域に対しては、保育所の喪失に伴う地域コミュニティの向上に繋がる施策も考えていかなければならないと思っております。

本日は委員の皆様からも沢山のご意見をいただきました。質的な向上については、ハード面、ソフト面での向上を具体的に打ち出さないと閉園に伴う喪失感を補うことには繋がらないと思っております。子どものことを第一に考えることが大事ではありますが、一方では保護者も不安を抱えている状況でありますので、

保護者に対する丁寧な対応、支援、寄り添うことが必要だと考えております。その他にも、銚子市に戻ってくることを考えている若い世代が帰りたいと思えるような環境の整備、保育所の再編時期、再編に関わる方を集めての検討委員会など、本日いただいたご意見を踏まえながら3月末までに最終方針を決定していきたいと考えております。

再編につきましては、シビアかつデリケートで難しい問題であると思っております。すべての方が良いと思えることは難しいことではありますが、行政の責任として、丁寧な説明、マイナス面をしっかりと補う施策の実施をすることで、再編をして良かったと思われるように進めたいと考えております。

議長 他にご意見がないようであれば、(3)その他について、事務局より説明をお願いします。

(3) その他

- ・令和2年度 幼稚園・保育所(園)の申込状況について
- ・令和2年度 放課後児童クラブの申込状況について

(資料3)「令和2年度 保育所(園)別入所申込み児童数」

(資料4)「令和2年度 放課後児童クラブ入所申し込み児童数」

(資料5)「認定子ども園銚子幼稚園の状況について」

事務局より説明

(質疑応答)

委員 放課後児童クラブについて、子育て支援課から、各学校へ申込状況を知らせていただくことはできないか。

事務局 入所者数を学校へお知らせすることはできるので、情報が入ったらお知らせする。

議長 他にご意見等がないようであれば、議事については終了させていただきたいと思います。本日は多くの貴重なご意見、ありがとうございました。事務局は、ご意見を参考に今後の事業を計画的に進めていただければと思います。

4. その他

5. 閉会